

事業報告

事発番号： 19-038★（日臨技推進事業）

事業名： 脳波検査研修会

日時： 令和元年11月21日（木） 18:30～20:30

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主題： 検査技師が知っておくべき脳波検査

講師： 相楽 愛子 技師（滋賀医科大学医学部 睡眠行動医学講座）

参加数： 総数34名（京臨技会員：28名）

報告者： 柘田 昌未（康生会武田病院）

以下、講演内容など

今年度の脳波検査研修会は、相楽 愛子先生をお招きして「検査技師が知っておくべき脳波検査」をテーマとしてご講演いただきました。脳波検査の基礎から臨床に関わる内容まで、幅広くお話していただき、初心者からベテランの方まで学べる内容だったと思います。前半部分では、脳波検査を行う上で基礎となる電極配置や誘導、アーチファクトの除去法、賦活法を中心に、後半部分ではてんかん発作や検査技師が所見をつける際にレポートに記載すべき点など、盛りだくさんの内容でした。特にてんかん発作の部分では、ご自身の体験を交えてお話ししていただきましたので、とても分かりやすく参考になりました。また、検査技師が脳波検査を行う上で重要な事は、綺麗な脳波をとる事ではなく、患者さんの異常を見つけてあげる為に最善を尽くすことである、という事を改めて再認識できる機会になりました。研修会終了後は、フロアの方からたくさんの質問があり、大変活発な質疑応答の時間でした。